

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和３年度第１回長久保小学校学校運営協議会
日時	令和３年５月２１日（金曜日） １３時３０分～１５時３０分
場所	長久保小学校 図書室
議題	(1) 学校運営協議会組織について (2) 長久保小学校運営協議会会長、副会長の選出について (3) 令和３年度長久保小学校の教育方針について (4) 意見交換
配布資料	資料１ 令和３年度長久保学校 学校経営について 資料２ 令和３年度長久保小学校グランドデザイン
公開・非公開	非公開
傍聴人数	０人
会議要旨	(1) 学校運営協議会組織について (2) 長久保小学校運営協議会会長、副会長選出について (3) 令和３年度長久保小学校の教育方針について (4) 意見交換

【議事概要】

議 題 （１） 学校運営協議会組織について

< 校 長 > 今年度の協議会メンバー、協議会会則について説明。

配布資料１ 「鶴ヶ島市立長久保小学校学校経営について」を基に学校運営についての説明があった。

（説明要旨）

・本校の課題・学校教育目標・学校運営方針・重点、努力店について説明があった。

議 題 （２） 長久保小学校学校運営協議会 会長・副会長の選出について

< 仮 議 長 > 選出方法について、「立候補のよる方法」と「指名推薦による方法」があるが「氏名推薦による方法」でよいか提案。異議はなし。

< C 委 員 > 前年度と同様、会長を A 委員、副会長を B 委員にお願いしたいと推薦。委員からの異議はなし。

< 仮 議 長 > A 委員を長久保小学校運営協議会の会長に、B 委員を同副会長に決定。
校 長

< 会 長 > ここからは、会長が議長となり協議を行います。

議 題 (3) 令和3年度長久保小学校の教育方針について

< 会 長 > 協議(3)の令和3年度長久保小学校の教育方針について。

< 校 長 > 配布資料1 令和3年度長久保小学校の教育方針を基に説明。
(説明要旨)

・配慮を要する児童について、職員の科学的知見に基づいて対応し記録する。

学習内容の習得、学び合い学習の実施し理解を深めるために教員も学んで行く。

積極的な生徒指導を行う 日常的な子供の変化を見逃さないようにする。

安全指導、コロナ対策について、開かれた学校について 地域との連携について

情報発信について、ホームページや学校だよりで発信していく

目指す児童像、学び合いを大切にし、相手の気持ちを理解するためにも話をきちんと聞く。言葉で伝えることを大切にしたい。

議 題 (4) 意見交換

< 会 長 > 協議(4)の意見交換について。

< A 委 員 > 学校は始まったばかりだが、子どもたちはおとなしく落ち着いている。

(意 見) 教室でパソコンを使っていたが、学校で使っているものなのか?様々な勉強法があって良いと思う。

4年生が社会科見学の予習をしていたが、日程はいつなのか?

< 校 長 > パソコン1人1台利用。タブレットにもなるもの

(回 答) 社会科見学は来週5月27日の予定。雨天の場合は6月10日。

< D 委 員 > 1年生、校歌の授業をしていたが、座ったまま体をねじり後ろを向いて、

(意 見) 歌いにくそうだった。フェイスシールドはしているが大きな声は出していなかった。どんな方法で歌の指導をしているのか?

6年生国語の話し合い、先生が端の子に聞こえているか確認しながら授業しているのがよかった。クロームブックの利用について、見る内容についてなど使い方を考える必要はありますが、授業時間以外でも自由に使える時間も設け、どんどん使って慣れていくよう活用して欲しい。

皆さん騒いだりせず落ち着いている、
低学年は、今日は落ち着いていたが、学校公開日に来たときは、保護者も来ているのでまだまだ落ち着かないつかない部分もあったのもう一人先生がいる環境だと子どもたちに目も行き届いて良いのではと感じた。

< 校 長 > 大きな声で歌うことはできない。国の方針では歌うことは推奨されていない
(回 答) ない。感染防止のためあまり歌うことは推奨されていないが、校歌を覚えるなど、必要な場合は最大限に注意し、実施するときはフェイスシールドをして配慮しながら行う。

< E 委 員 > コンピュータを使った授業は子供たちの目が生き生きとしていた。
(感 想) 子どもたちの自由に使わせるリスクも高いのですが、3-2の授業では声に出して恥ずかしそうに聞いている子どもがいた。コンピュータを使うことで、昔の番組に合ったフィーリングカップルのような感じで相手の心をさぐり合うような、そんな使い方があっても良いのではと感じた。
子どもたちの数が30名程度だったのでしょうか。いろいろなタイプの子どもがいる中で、先生方は子どもたちのニーズに対応しなくてはならないので、改めて大変だなと感じた。

< F 委 員 > タブレット学習は、自分のペースで学習していけること、間違えたところ
(意 見) りは繰り返して学習でき、興味をもって繰り返しの学習をし、覚えていくことができるのは良いと思う。自分で進んで学習したことを定着させていくには有効だと感じた。
体育の授業は、マット運動をしていたが子どもたちは柔軟性もありコロナの中で体を動かす機会が減っているので、学校で通常時に近い体育の授業ができるようになったことは良かったと感じる

< C 委 員 > 今の子はおりこうさん。
(意 見) 情報量も多いしタブレット・スマホを使いこなすが、メリットだけではなくデメリットもある。目が悪くなったり、自分で物事を考えない。デメリットとしてスマホ脳などということも言われていて、子どもたちに何をさせたらいいか先生方の対応も必要なのでは。
生きる力は学力とは別。スマホやパソコンがなくなったとき、どれだけの力を子供たちが出せるか。自分に何ができるかを考える良いタイミングなのではとも感じた。

< B 委員 > 学校要覧を下さい。職員がずいぶん変わられているので、どのように変わったのかを教えてください。また、運営協議会の資料に(現在までに)発行済みの学校だよりをつけてほしい。

(意 見) 学習環境では、子ども達の机の上のパーテーションがなくなりすっきりした。フェイスシールドはつけている学年とつけていない学年があった。その違い、意図は何か？

「長小スタンダード」という記載があったが、その定着を図ると良いと思います。そのためには子どもたちにどう教えていくか考える必要があります。学習中のマナーを子どもたちにどう指導していくか。先生方の指導法が確立していくことも重要。

課題把握、見通しから、課題解決の見通しまでもっていけると素晴らしいと思う。

先生方の年齢が若くなっている。良いことだと思うが、指導方法の継承についてはベテランに学ぶところも多いので若い先生にどう伝えていくのか課題

市費で配置されているのか。かなりスタッフが充実していると感じた。なかよしのクラスにも2人ほど先生がいた。大変充実していてよいので今後も活用していったほしい。

< C 委員 > 50代くらいの先生はどこへいったのか。

(質 問) 昔はおじいちゃんおばあちゃん先生もいたが、今は若い先生が多く、先生方の年齢層や配置が昔と変わってきていると感じた。

< 校 長 > 本日、学校要覧の配布を予定していたが印刷機が故障し準備ができなかった。学校だよりは今回準備していなかったが、ご覧いただけるよう準備したい。

フェイスシールドは、飛沫拡散防止のため、向かい合って対面になるときなどに使用している。

先生方の年齢は大体、男性34、女性38ぐらい。これからどんどん若くなる。一定時期、先生の採用が少ない時期があり現在の40～50代の先生は少ない。これからも若い先生は増えてくる。先生方の力量をどう維持していくかは課題。

教育は人だと思う。鶴ヶ島は多くの人材が入っていてありがたいことだと思う。予算的にも多くを割いていただいていると思う。

< C 委員 > 学習障害の子どもは在籍しているのか
(質 問)

< A 委員 > 昔から本をうまく読めなかったりする子もいたと思いますが今もいるのか？
(意 見)

< C 委員 > 世の中には、学習障害ではないかという大人がいて、そういう人が、どこかで矯正というか、専門的な教育を受けることがないまま社会に出て、犯罪に結びついたり、考えられない行動するようなことが見受けられる。学習障害の子どもをどう育てていくか、中学への引継ぎについてはどうしていくべきかと思うことがある。大人になって社会に出るまでにどうしたら良いか。

< 校 長 > 学習障害かどうかの判断は医師でないとできないが、診断を受けている
(回 答) 子もいる。また、主観的に見て恐らくそうではないかなと思う子供もいる。埼玉県統計では、10人に1人はいるというデータもある。
発達障害の子供の話は、「ケーキを切れない子ども」の本にも書いてあるが軽度発達障害については、知能指数が75～85%の子どもを指している。こういった子供は普通学級に入って学習することになる。このような子供がいる場合にはきちんとした教育が受けられるよう、学校も努力している。
発達障害についても様々な特性がありますが、その子供たちがすべて犯罪に結びつくということではない。
発達障害の教育については、学校も研究し取り組んでいる。
家庭が特別な教育を受けることに理解を示し、心の教育などの専門的な教育を受けることに結びつけることができればよいが、難しいところがある。家庭との信頼関係が重要。

< B 委員 > 聴覚障害の子はいるのか
(質 問)

< 校 長 > 聞こえにくい子はいるが聴覚障害の子はいない
(回 答)

< C 委員 > 学校情報の回覧が回るが、地域では、子供や孫もいなくなると学校に興味
(意 見) がなくなる。地域の学校のことは知っていたほうがいいのではと思いますが情報などがあっても興味を持たなくなる。
学校で起こっていることを伝えていくためにはどうしたらいいかと考える。

< D 委員 > 高齢で役員をできないことを理由に自治会から抜ける方もいれば、新た
(意見) に入ってきた若い世帯でも自治会に入るという選択をしない世帯も増えている。支え合い協議会という違うアプローチの仕組みも徐々に市内に充実して来てはいるが自治体だけでは成り立たなくなっているのでは。

開かれた学校、地域の学校としての情報発信をどうしたらよいか。回覧ではなく、広報とかホームページに載せるという手もあるが、ホームページを見に行くという行動につながらない。子供のいない地域の方にどうPRしていくかが課題

< F 委員 > 支え合い協議会としても、子どもの活動にも取り組んでいきたいと話し
(意見) 合いをしています。先日、社会福祉協議会が行っている地域の高齢者と子供をつなぐ声かけ活動のお話を聞きました。今は近所の子どもでもお互いの顔や家もわからず、不審者と間違われなために声をかけるのもためられる時代。お互いの顔が見える関係を作り、挨拶できるような関係を築く活動にも少しずつ取り組んでいけると良いなと感じます。

< C 委員 > 先日、体験学習の授業に参加してきたが、学校はいろいろと頑張っている
(意見) と思う。支え合い協議会をやっている、様々な意見が出る。活動についても市の予算に準じた内容に当てはめて活動している。体験学習には協力していきたい。
予算が絡むことになるのですが、川越市など他市との状況の違いは

< 校長 > 他市と比べても、鶴ヶ島は学校に多くの人材が入っていると思う。
(回答) 予算的にも子どもの事に多くを割いていただいていると思う。
子どもたちにとっても良いことだと感じる。

< B 委員 > 予算は制限があり使い方はしっかりと考えなくてはならないと思います。
(意見)

学校で地域との交流等を考えた場合、どこから予算を工面するかが難しい。PTAなのか、社会福祉協議会なのか、支え合い協議会なのか？

1年生と敬老会の方が一緒に給食を食べるということを計画したことがあったが、予算をどこから取るかなど調整が大変な部分が出てくる。

また、学校では挨拶しましょうと子どもたちに言いながらも、一方で警戒しましょうと教えられているようなもの。地域の方も、顔も知らないのに声をかけると不審者と思われてしまうと思い声をかけない。

地域内で顔の見える関係を作っていくためにお互いにアイデアを出しながら努力をしていくことが大切。必要なことは市に要望しながら、子

供も地域の方も喜ぶ活動をしていき、人の輪を広げていく事は大切。
学校と地域をつなぐために何ができるか？皆で勉強して良い方向性を作るためにできることを話し合い考えたい。

< C 委員 > 子供だけではなく大人の側も警戒してしまう。地域と学校の間をどの
(意見) ように方向づけていくか、穏やかにもれなく話し合いの中でやっていく
ことが大切だと思う。

< D 委員 > 長久保でも、地域の方との交流ということで、さわやか学級の方に来て
(意見) いただき、地域の高齢者と子供たちで昔遊びを覚えてもらったりしていたが、
コロナで現在は実施できていない。

地域の方を運動会にも招待していたがそれもできない。

合唱祭もカリキュラム上の都合で全校一斉にという形で開催できなくな
った。コロナや社会情勢もあり、ここ数年は開かれた学校とは逆行して
いる部分が見られると感じる。

予防接種等感染が行き届いてひと段落してきたときに、社会情勢に合わ
せどのように構築していくかも検討していただきたい。

< C 委員 > コロナという状況が、人間の気持ちを変えしまうぐらいの力があると感
(意見) じる。

< 会 長 > 本日は貴重なご意見ありがとうございました。

時間となりましたので、本日の会議はこれにて終了とさせていただきます。
ありがとうございます。